

まこと 後援会

さくま誠 便い

2018年 春号
名寄市西5南12
さくま誠 後援会
☎ 01654-3-9260
発行責任者
菅野 孝

橋梁点検・修繕状況や工事の見通しと 持続可能な介護システム等について質問



平成30年名寄市議会 第一回定例会を終える

平成30年の名寄市議会第一回定例会は2月26日～3月27日までの日程で開催され、平成30年度の一般会計予算211億6612万4千円、特別会計・企業会計を含む総予算441億8837万9千円を審査の上原案通り可決。「名寄市第七期高齢者保健医療福祉計画・介護保険事業計画」「名寄市病院事業の設置等に関する条例の一部改正」など議案36件、「非常勤職員の処遇改善」「地方路線問題調査特別委員会での徹底審議を求める意見書」など5件を可決し閉会しました。

佐久間議員は3月13日の一般質問で①公共施設の整備に関して②持続可能な介護システムの在り方について③新年度の重点施策に関してなどの3件10項目について人口減少・高齢化社会を見据えた街づくりについて質疑しました。

18線橋は再度方針建て

問 本市の橋梁の架け替え・修繕などの予算措置の見通しは？
また、通行規制となっている橋梁について産業振興、経済振興、風連と名寄を結ぶ重要な幹線との観点から早期対策が求められる。工事の見通しを伺う。

答 橋梁長寿命化事業は、国の重点政策と位置付けられていることから、自治体要望額の9割の配当率となっており、適正な予算措置が今後も継続されると認識している。

通行規制の18線近隣の方にはご迷惑をおかけしている。18線橋を含む近接目視点検が今年度、3月末に完了し、より詳細な結果が判明することを踏まえ、再度方針建てをして参りたい。

公共施設13% 縮減目標と進め方は？

問 名寄市公共施設等総合管理計画の13%縮減目標について、人口減少と超高齢化社会の中で、次世代にツケを回さないとの決意を共有し、「産業・経済振興」にかかると、日常生活に欠かせないインフラ維持整備など、必要なものには投資し、コンパクトにできるものはコンパクトに縮減していかなければならないと思うが今後の進め方を伺う。

置、統廃合、複合化などは、庁内議論のみならず、市民や地域施設を利用されている各団体や関係機関などしっかりと議論を深めていかなければならない。新年度は、まちづくりの方向性を示す都市計画マスタープランの見直しとともに、立地適正化計画の策定も進めていく予定なので、多くの議論と理解を得ながら名寄市全体の共通認識として共有を図り、管理計画の目標値にむけ、更には個別計画の策定にむけ進めて参りたい。

問 人口の流動化（増減）への対応、市営住宅と学校施設で50%になる構成をどう考えるのか？

答 今後の財政状況や環境変化に応じて適宜目標値も考える必要がある。他の自治体も同様な状況にあり、整合性を図り進めていきたい。

